

第76回 墨田区民体育祭少年サッカー大会 大会要項

1. 主 催 墨田区、墨田区体育協会
2. 主 管 墨田区サッカー協会、墨田区サッカー協会少年部
3. 協 賛 (有)福禄スポーツ (株)モルテン
4. 競技種別
 - 8人制とする
 - 高学年(6年生以下4年生まで)
 - ※ 複数チーム出場クラブは4年生の登録は出来ない
 - ※ 4年生のみでの参加は認めない
 - 低学年(4年生以下2年生まで)
 - ※ 複数チーム出場クラブは2年生の登録は出来ない
5. 大会期日
 - 2024年 2月4日、11日、12日、18日、23日、25日
 - 基本、日曜・祝祭日の開催予定だが、天候等により土曜開催の可能性も有り
(少年部会で日程調整、組合せ抽選 場合により代表者会議)
 - 各大会日時は、少年部で随時調整し各参加クラブへ速やかに連絡を予定
6. 選手資格
 - スポーツ安全保険等に加入し、墨田区サッカー協会少年部への個人登録およびチーム登録をした者、
(※2年生についても大会参加させる場合も個人登録する事)及び7.のチーム登録の要件を満たした団体の選手
 - 開催期間中に出場出来る年齢は、満12歳までとする。
7. チーム登録
 - 墨田区サッカー協会少年部に登録する団体及び墨田区に活動拠点を置き、墨田区に在住・在学する選手で構成されている団体で、競技種別毎に各クラブ条件を満たしたチームであること
 - 登録1チームにつき、審判員2名(有資格者)を帯同させる事
 - 1チームは選手8名以上で登録し、選手6名で試合は成立する
8. 選手登録
 - 選手の1日の試合数は、2試合(3試合^{*1})とし、メンバー表に登録されたものでカウントする
 - ※1：試合時間が30分(15分ハーフ)の場合
 - 複数参加クラブに於いて、組合せ抽選後のチーム間の選手の入替は認めない
9. 追加登録
 - 選手の追加登録は各大会の初日第一試合開始30分前まで認める
10. メンバー表
 - メンバー表はメンバーチェックを受ける前に大会本部に提出すること
 - ※ 第1試合出場チームのメンバーチェックは、試合の準備を整えて試合開始20分前までに大会本部前に集合しメンバーチェックを受けること
 - ※ 第2試合以降出場する各チームのメンバーチェックは、前試合のハーフタイム終了後、試合準備を整えて開始15分前までに大会本部前に集合しメンバーチェックを受けること
 - ※ メンバーチェック後は、チーム待機場所に戻らずグラウンド横に待機し、前試合終了後速やかにベンチに入ること
 - 選手登録書/メンバー表には、引率監督名、コーチ氏名、帯同審判員名を必ず記入すること
 - 試合に出場できる選手は、メンバー表に記載され届けられた先発競技者・交代要員の合計人数は20名までとする。それ以外の選手が記入されている場合はその欄を黒く塗りつぶし提出すること
 - ※ 21名以上で登録しているチームは、全選手ベンチ入りできるが、試合に出場出来るのはメンバー表で提出された20名の選手のみとする。出場できない選手のユニフォーム着用は認めない
 - 背番号欄は、試合当日のユニフォームの番号を記入すること
 - メンバー表は1試合に1枚を提出すること(チームへメンバー表の返却しない)
 - 選手IDカードは、メンバーチェック時に確認できるようにすること

- 選手IDカードが提示できない選手はその試合に出場できない（選手登録申請書類は可）
 - チームとして選手IDカードが提示できない場合は、試合を無効試合^{※2}とする
- ※2：無効試合はカテゴリーごとにトーナメント以外、最大得点差+1点の不戦敗とする
- 紛失等でIDカードが提示できない理由が生じた場合は、**前日までに**少年部役員に連絡し特例処置を受ける事、試合当日の報告は認めない

11. 競技規定

1 競技規則

- 日本サッカー協会競技規則(2022/23)及び8人制競技規則及びまた大会要項、補足事項による

2 試合形式

- 参加チーム数により数ブロックに分け、各ブロック予選リーグ戦を行い、各ブロックの順位によりトーナメント戦を行う
 - 選手**6名**で試合は成立し、一方のチームが**6名**に満たない場合は試合を開始せず無効試合とする。また、試合中に5名以下になった場合も無効試合とする
 - ブロック予選リーグ組合せ抽選は、公平を期す為1クラブからの複数チームが同一ブロックになった場合でも組合せは考慮しない
 - ブロック予選リーグの順位決定は、勝点制（勝ち3点、分け1点、負け0点）とし、勝点の多い順に順位を決定する
 - 勝点合計が同一の場合は以下の順序により決める
 - (a) 全試合のゴールデファレンス（得点－失点）
 - (b) 全試合のゴール数
 - (c) 該当チームの対戦成績。 それでも決しない場合は抽選とする
- ※・予選ブロック内に不戦敗がある場合の順位決定はこの限りではない
(c.の該当チームの対戦成績を考慮して本部で判断する)
- トーナメント戦(決勝戦以外)で勝敗が決しない場合、ペナルティーマークからキックで次への進出チームを決める。決勝戦は10分(前後半各5分)の延長戦を行い、勝敗が決しない場合はペナルティーマークからキックで勝敗を決める

ペナルティーマークからキックは8人制サッカー競技規則に従って行われる

3 試合時間

- 40分(前後半各20分)とする
- ※ 30分(前後半各15分)の場合あり

4 交代

- 自由な交代をすることができる
- 退場者が出た場合は交代要員の中から選手を補充できる事とする

5 処分

- 試合中退場処分を受けた者は、次の試合1試合に出場できない
- 大会期間中警告処分を累積2回受けた者は、次の試合1試合に出場できない
- その後の対応(懲罰を含む)については役員会で審議し決定する
- 大会中に不正行為が認められた場合、役員会で審議しその後の対応を決定する
- チーム役員にも懲戒罰(警告退場)が適用されることからチーム役員も出場停止(ベンチに入れない)になる

6 試合球

- 試合球は4号ボール(JFA公認球)とし、ボールは協会を用意する

7 審判

- 審判は、主審1名、副審2名、第4審判1名とする
- 審判割り当ての基本は後審判制とし、
【前試合ホームチーム：主審・4審】 【前試合アウェイチーム：副審】とする

ただし、第1試合の審判割り当ては、

第2試合ホームチーム：副審、 第2試合アウェイチーム：主審
 第3試合ホームチーム：副審、 第3試合アウェイチーム：4審 とする

| ベンチ | ホームサバ：上流側 | アウェイサバ：下流側 | 審判 |
|---------------|-----------|--------------|----------------------------------|
| Kickoff | 20-5-20分 | | |
| 第1試合 9:00 | 会場設営 あ | グラウンド設営 い | R:えチーム 4:かチーム A1:うチーム A2:おチーム |
| 第2試合 9:50 | う | え | R:4:あチーム A1・A2:いチーム |
| 第3試合 10:40 | お | か | R:4:うチーム A1・A2:えチーム |

- 第4審判は会場責任(14項参照)も行う
- 担当審判員は、該当試合開始5分前までに会場責任席に集合して審判打合せを行うこと
- 審判服の上下を必ず着用すること(※審判服は黒色に限る、第4審判を含む)
- 警告・退場を提示した場合は審判報告書を主審が記入して、大会本部に提出すること
- 審判員は会場責任席にてJFA KICKOFFアプリから審判員証画面または審判員証画面の印刷物(写真付)を少年部役員が確認する
- 審判員証が無い場合(アプリ画面を提示出来ない場合)は審判には入れない(写真未登録は不可)
- 責任審判が出来ないときは、役員会を開催し審議の上、参加チームに対しペナルティーを与える
- 主審は試合終了後、速やかに試合記録報告書をメンバー表と共に大会本部へ提出する
- 主審以外の帽子の着用は認める

8 ユニフォーム

- 正/副を用意し選択権は、両チームの話し合い又は抽選により決定する
- 競技規則に準ずるが、試合中F PとG Kが交代しユニフォームの背番号が変更される場合は、事前に本部と主審に確認しメンバー表に記入する事(不足の事態はこの限りではない)
- アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色は問わない。但しチーム内で同色のものを着用する

9 その他

- ベンチ入り出来る指導者・コーチは2名以上5名以内とする(テクニカルエリア内のみ)
- 監督、コーチは審判服のままではベンチ入り出来ない(節度ある服装)
- 試合中選手への指示はテクニカルエリアからとし、その都度ただ一人の監督またはコーチのみが戦術的指示を伝えることができる(但し指示後は速やかに着席し試合中の立ちっ放しは禁止とする)
- 試合の入場セレモニーはトーナメントのみ準決勝から行う

12. 表彰

| | |
|--------------|--------------|
| 優勝 | : 区長杯貸与 |
| 1位～3位 | : メダル、盾、賞状授与 |
| 4位 | : 楯、賞状授与 |
| 高学年優秀選手(20名) | : 記念品授与 |

13. ポイント

本大会は2024年3月に開催(予定)のチャンピオンシップ大会出場ポイントが付与される

優勝: 出場権獲得、 **2位: 3.2P** **3位: 2.2P**、 **4位: 1.2P**

14. 会場責任

1 担当試合

- 日程表を確認し、担当試合の第4審判が会場責任を行う

2 担当業務

- 割り当てられた試合の進行管理、試合記録等の記入
- 必要に応じてグラウンドのライン引き直し、管理を行う
- 試合終了後の試合記録を主審と共に確認し、両チーム監督からの確認サインをもらう
 - ※ 会場責任者として対応している本部役員は審判員証の確認を行う
 - ※ 試合記録報告書に帯同審判員は氏名、担当チーム名を記入する

15. グラウンドの設営と撤収

1 荒川少年サッカー場

- 第一試合アウェイ側チーム
グラウンド設営: 「ライン引き」「ゴールネット点検」「コーナーフラッグ設置」を行う
- 第一試合ホーム側チーム
会場責任席設営: 「テント(天候による)、テーブル、椅子の準備」をする
- 設営は、第一試合の2チームが試合開始15分前までに行うこと
- 撤収は、最終試合のアウェイ側のチームが行うこと
 - ※ チームベンチは大会運営側で用意をしません。各チームで必要なベンチ等(レジャーシート可)を準備すること。ただし、チームベンチ指定範囲内とする

2 墨田5丁目グラウンド

- 第一試合の2チームがグラウンドおよび会場責任席の設営を行う
設営: ゴール設置、ライン引き、コーナーフラッグ設置
- 最終試合の2チームが撤収および整備(野球内野グラウンドのブラシかけ)、ゴミの処理等を行う
- 撤収: ゴール撤去、ブラシかけ(野球内野部)、ゴミの処理等
 - ※ チームベンチは大会運営側で用意をしません。各チームで必要なベンチ等(レジャーシート可)を準備す

ること。ただし、7チームベンチ指定範囲内とする

16. 参加費

- 1チーム 7,000円

17. 連絡

- 天候不順、その他による中止連絡は当日朝(AM7:00頃迄)に少年部連絡網にて連絡
※ 日程等は随時協会ホームページで確認する事

補足事項

注意事項

- ・ 大会開催時における少年部役員は、大会本部(役員席)、会場本部(グラウンド)に担当を置く事とする
- ・ 第1試合のグラウンド練習は、メンバー表を大会本部に提出し、選手登録書チェックを受けた後に主審の指示により行うこと
- ・ 試合状況、チーム状況により審判員が相互に連絡を取って行う事
- ・ 試合中チーム選手へアドバイス(指示)ができるのは、都度1名の指導員(監督orコーチ)だけとする
- ・ めがねの着用は禁止する。但しスポーツゴーグルの着用は認める
- ・ 万一の事故に際しては出来る限りの応急処置はするが、その後の責任は負わない

メンバー表 注 意 事 項

- ・ 記入事項に間違いがあった場合試合出場できない場合がある
- ・ 提出されたメンバー表は役員が試合開始前までに会場本部へ届ける

審判員・メンバーチェック

- ・ 「未経験者」の方が審判をする機会もある可能性がある。チームが責任を持って審判派遣をすること。また色々な事情により審判割り当てに不都合が生じる場合は当事者同士で試合前に割り当てを話し合い決めること
- ・ メンバーチェックの際に注意点があった場合、役員は会場当番へその旨を伝える

感染症等について

- ・ 各クラブ所属の選手において、在学先で学級閉鎖、学年閉鎖および学校閉鎖が発生した場合には、期間中の選手出場は出来ない
- ・ 学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖になった選手は閉鎖期間中に試合出場出来ない